

精神科医療機関におけるリカバリー志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート ～コンボ『こころの元気+』のグループ活用の可能性に関連して～

●●まず貴院・貴診療所（貴院）のリカバリー志向活動の現状についてうかがいます●●

※「貴院・貴診療所」を、以下では「貴院」呼ばせて頂きます。

近年、精神保健福祉の領域では、世界的に「リカバリー」の考え方が、病気からの回復だけでなく、人それぞれの「生き方や人生を取り戻すこと」や「主体性の回復・暮らしの回復」という観点から重視されるようになりました（人としてのリカバリー（パーソナルリカバリー））。精神障害の当事者それぞれの「リカバリー」を実現する精神保健福祉サービスは、「リカバリー志向サービス」として注目され、社会からも求められるようになりました。

問1 まず最初に、「人としてのリカバリー」（パーソナルリカバリー）に関して、以下のことをご存じでしょうか。ご存じのことすべてに○印をつけてください。

- 1) 精神障害のある人の希望や夢、将来に対する楽観性を重視する。
- 2) 精神障害のある人の自分らしさや、人生における意味に焦点を当てる
- 3) リカバリーは、その人が自分の人生における重要な決定や選択する主導権を持つことを重視する
- 4) 生活の中の有意義な役割や目標をもつことを重視する
- 5) 精神障害のある人の長所や強みに焦点を当てる
- 6) リカバリーの歩みは一人ひとり違い、リカバリーを支える最善の方法は人によって異なる
- 7) 精神障害の経験者（ピア）は、他の精神障害のある人のリカバリーに貢献できる
- 8) ピアサポートの専門家（ピアスタッフ）は、リカバリーを志向するサービスにおいて重視される
- 9) アメリカでは、ピアスペシャリストというピアサポート専門家の制度化が進展している
- 10) アメリカ大統領委員会（2003）は治療と支援の目標として「リカバリー」を中心的なゴールに設定した
- 11) 以上に当てはまるものはない。承知していることはない。

問2 次に貴院では、リカバリー志向の支援や活動、取組み（リカバリー志向活動）に対して、どの程度前向きに取り組んでいるとお考えになりますか。当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1) 十分に取組んでいる 2) ある程度は取組んでいる 3) どちらとも言えない 4) あまり取組んでいない 5) まったく取組んでない

問3 精神障害のある人へのリカバリー志向活動を、貴院やあなたが所属する部署で行うために重要と思うことがありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 精神障害のある当事者との対等な関係性、信頼関係の形成
- 2) 精神障害のある当事者それぞれのチャレンジへの支援
- 3) リカバリーを経験した当事者（リカバリー経験者）と接する機会の提供
- 4) 精神障害のある当事者同士の交流の機会を多く設ける
- 5) 精神障害のある当事者同士の交流、ピアサポートへの支援
- 6) ストレンジス志向、利用者の良いところに向けて支援に力を入れる
- 7) 当事者本人の思いを実現できる実践を行う、科学的根拠に基づく実践の実施
- 8) コミュニケーションスキルの向上 9) 多職種での情報共有
- 10) リカバリー志向活動に経験をもつスタッフの充足 11) リカバリー志向活動に関するスタッフ研修の実施
- 12) スタッフ研修会にリカバリー経験者を講師とするセッションを設ける
- 13) その他（具体的に： _____)
- 14) 以上に当てはまるものはない

問4 貴院のリハビリテーションや治療では、以下にあげる「人としてのリカバリー」への要素について、現在どれくらい力を入れていらっしゃいますか。貴院全体の取組みとして最も近い数字それぞれに1つに○印をつけてください。

	1) 大いに力を入れる	2) ある程度は力を入れる	3) 多少は取り組む	4) 全く力を入れていない
a.ピアサポートなど支援のつながりの構築や再構築	1	2	3	4
b.将来への希望や夢、肯定的で楽天的な考え方の重視	1	2	3	4
c.自分らしさの重視、自分らしい肯定的人生の意味の構築や再構	1	2	3	4

	1) 大いに力を入れる	2) ある程度は力を入れる	3) 多少は取り組む	4) 全く力を入れていない
d.生活の中の有意義な役割や目標の重視	1	2	3	4
e.当事者のエンパワメントの重視	1	2	3	4
f.当事者の自己責任の尊重	1	2	3	4

問5 前問のような各要素を踏まえた取り組みを、これから貴院では増やしていくことが必要だと思いますか。もっとも当てはまるもの1つに○印をおつけください。

- | | | | | |
|------------|-----------|--------------|--------------|---------------|
| 1) 大いにそう思う | 2) 少しそう思う | 3) どちらとも言えない | 4) あまりそう思わない | 5) まったくそう思わない |
|------------|-----------|--------------|--------------|---------------|

問6 以下にあげる取組みは、代表的な「リカバリー志向サービス」として注目されているものです。これら取組みのうち、貴院で取り組んでいる活動がありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|--|
| 1) 元気回復行動プラン(WRAP) | 8) 援助付き住居 (ハウジングファースト等) |
| 2) 疾病管理とリカバリー(IMR) | 9) 重複障害(物質使用と精神疾患の重複障害)のための統合治療 |
| 3) ストレngths志向のケアマネジメント | 10) 包括型地域生活支援プログラム(ACT) |
| 4) ピアサポートサービス | 11) 治療や支援の共同意思決定 (SDM/SHARE など) |
| 5) ピア支援者が運営する組織 | 12) 当事者と協働作成によるクライシスプラン (JCP、Advance Directives 等) |
| 6) IPS 援助付き雇用 | 13) その他 (具体的に:) |
| 7) 援助付き教育 | 14) 以上に当てはまるものはない |

問7 貴院では、リカバリー志向活動を進める上で、どのくらい困難を感じていらっしゃいますか。もっとも当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1) 大いに困難を感じる | 2) ある程度は困難を感じる | 3) どちらとも言えない | 4) あまり困難を感じない | 5) まったく困難を感じない |
|--------------|----------------|--------------|---------------|----------------|

付問1【前問で1)か2)の「困難を感じる」を選んだ方】それはどのような困難でしょうか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1) リカバリー志向活動に取り組む人材の確保 | 6) 多くのスタッフの意識がリカバリー志向活動に向かない困難 |
| 2) ピア支援者の確保 | 7) その他 (具体的に:) |
| 3) リカバリー志向活動に取り組む財源の確保 | |
| 4) リカバリー志向活動に取り組む知識・経験・ノウハウの乏しさ | 8) 以上に当てはまるものはない |
| 5) 医療機関全体の組織的合意形成の困難 | |

●●次にリカバリー志向活動に関連して、当機構が発行する『こころの元気+』のグループ活用の現状と可能性についてうかがいます●●

私たち NPO コンボが発行するメンタルヘルスマガジン『こころの元気+』は、精神障害のある当事者それぞれのリカバリー実現を、支援者・家族・市民そして当事者相互の支援などにより、みんなで協働して精神障害のある当事者を応援することを旨とした雑誌です (見本誌は同封しています)。

まず貴院における、現在の『こころの元気+』の活用状況をおうかがいます。

問8 あなたは、これまでにメンタルヘルスマガジン『こころの元気+』ご覧になったり、お読みになったことがありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|--------------------|-------------------------|
| 1) 雑誌の名前を聞いたことがある | 2) 雑誌を見かけたことがある | 3) 手に取ったことがある |
| 4) 読んだことがある | 5) 所属する組織が定期購読している | 6) あなた様ご自身が定期購読している(いた) |
| 7) その他 () | | |
| 8) 存在を知らない。あるいは以上に当てはまるものがない | | |

問9 貴院では、メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』を導入していらっしゃいますか。当てはまるものすべ

てに○印をつけてください。

- 1) 1 部門で購読している 2) 複数部門(_____ 部門)で購読している 3) 導入を検討している
4) 以前購読していたが現在はない 5) 導入を検討したことはない
6) その他 (具体的に _____)
7) 以上のいずれも当てはまるものはない

付問【前問で1)2)4)にご回答頂いた場合】『こころの元気+』を導入している部門は、以下のどれが該当するでしょうか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 外来 (待合室等) 2) デイケア 3) 作業療法部門 4) 社会復帰病棟
5) その他病棟 6) 医局 7) 看護部門 8) コメディカル部門
9) 貴院関連の当事者会 10) 貴院関連の家族会 11) 貴院以外も含めた関連の当事者会
12) 貴院以外も含めた関連の家族会 13) その他 (具体的に: _____)
14) 導入した部門はない

●●『こころの元気+』の読み合わせ等グループ活動についてうかがいます●●

最近、『こころの元気+』を、デイケアや作業療法、病棟のグループなどで、当事者や支援者がみんなで読み合わせをするグループ活動が広まっています。

問10 あなた様、あるいは貴院では、これまでに『こころの元気+』をグループ・集団(2人以上)で読んだこと、活用したことがありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) これまで継続的にグループで読んでいる 2) 継続的ではないがグループで読んだこと、活用経験がある
3) 自身に関わる活動ではないが、院内ではグループでの活用がある
4) 自身に関わる活動ではないが、院内でのグループ活用は分からない
5) グループ活用はないと思う
6) その他 (具体的に: _____)

問11【前問で1)~3)にご回答頂いた場合】『こころの元気+』をみんなで読み合わせをするグループ活動は、いくつの部門で行っていらっしゃいますか。当てはまるものに1つに○印をつけ、該当する数字を記入してください。

- 1) 1 部門で行っている 2) 複数部門(_____ 部門)で行っている
3) その他 (具体的に: _____)
4) グループでの読み合わせ等の活動を行ったことはない

付問1【前問で1)~3)にご回答頂いた場合】『こころの元気+』の読み合わせ等グループ活動を導入している部門は、以下のどれが該当するでしょうか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 外来 (待合室等) 2) デイケア 3) 作業療法部門 4) 社会復帰病棟 5) その他病棟
6) 医局 7) 看護部門 8) コメディカル部門 9) 貴院関連の当事者会
10) 貴院関連の家族会 11) 貴院以外も含めた関連の当事者会
12) 貴院以外も含めた関連の家族会 13) 貴院を含めた地域の勉強会・研究会
14) その他 (具体的に: _____)
15) 読み合わせを導入した部門はない

付問2【問11で1)~3)にご回答頂いた場合】貴院の『こころの元気+』の読み合わせ会等グループ活動には、どのような方が参加されているのでしょうか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 部門を利用する精神障害の当事者 2) ピアスタッフ(当事者スタッフ) 3) 医師 4) 看護師
5) コメディカルスタッフ 6) 部門外の関係者
7) その他 (具体的に: _____)
8) 以上のいずれも該当しない

付問3【問11で1)~3)にご回答頂いた場合】どのように読み合わせをされているのか、工夫していらっしゃるかと

があれば、以下に具体的にご記入頂けると幸いです。

--

問12 貴院において、リハビリ志向活動を普及するために『こころの元気+』のグループ活用を進めることについて、あなたのご意見をお伺いします。もっとも当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|------------------|------------------|-----------------|----------------|---------------|
| 1) 重要であり活用を強化したい | 2) 重要であり導入を検討したい | 3) 重要だが直ぐに導入は困難 | 4) あまり重要性は認めない | 5) 全く重要性は認めない |
|------------------|------------------|-----------------|----------------|---------------|

問13 今後、当機構では『こころの元気+』を、グループ・集団で読み合わせいただく機会を増やす取組みを進めていきたいと考えています。このことについて、あなたのお考えをお聞かせください(当てはまるもの1つに○)。

- | | | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|----------------|---------------|
| 1) 重要であり積極的に協力したい | 2) 重要であり協力を検討したい | 3) 重要だが直ぐに協力は困難 | 4) あまり重要性は認めない | 5) 全く重要性は認めない |
|-------------------|------------------|-----------------|----------------|---------------|

●●『こころの元気+』電子版の発刊について●●

『こころの元気+』を今後もっと多くの方にお読みいただきたいと考え、2021年2月15日より『こころの元気+』電子版を発刊いたしました。

問14 以上のような「こころの元気+」電子版の取組みについて、あなたのご意見をお伺いします。もっとも当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|----------------|--------------|---------------|------------|
| 1) 大いに期待している | 2) ある程度は期待している | 3) どちらとも言えない | 4) あまり期待していない | 5) 期待していない |
|--------------|----------------|--------------|---------------|------------|

付問1【前問で1)2)と回答した方】どのようなことを期待するのか、アイデアや工夫などがあれば、ご教示いただくと幸いです。

--

●●最後に貴院の概要についてお伺いします●●

問15 貴院の種別と開設者は以下のどれに当たりますか。当てはまるものそれぞれ1つに○印をつけてください。

- | | |
|---|---|
| ◎貴院種別: 1) 精神科病院
2) 精神科病床を有する病院
3) 診療所 | ◎開設者: 1) 国 2) 都道府県 3) 市町村 4) その他公的開設者
5) 医療法人 6) 個人
7) その他() |
|---|---|

問16 貴院の設立年と職員数についてご教示ください。

設立年: 西暦 _____ 年 / 職員数: 常勤職員 _____ 名、非常勤職員 _____ 名

問17 貴院が併設する事業、関連して設置する事業・活動をご教示ください。当てはまるすべてに○印をつけてください。

- | | | | | |
|----------------|------------------|------------------|--------------|--------------|
| 1) 精神科デイケア | 2) 精神科ナイトケア | 3) 作業療法 | 4) 訪問看護 | 5) 障害者相談支援事業 |
| 6) 他の障害者福祉サービス | 7) 老人保健施設 | 8) 特別養護老人ホーム | 9) 精神科病院/診療所 | |
| 10) 精神障害の当事者会 | 11) 精神障害のある人の家族会 | 12) 以上のいずれも該当しない | | |

問18 ご回答頂いたご担当者様のお立場(貴団体で)、職種等について当てはまるものいくつかも○印をつけてください。

立場: 1) 法人代表者 2) 法人理事 3) 医療機関代表者 4) 部門責任者 5) 主任等 6) その他()
職種: 1) 医師 2) 看護師 3) 精神保健福祉士 4) 作業療法士 5) その他()

●お忙しい中、調査にご協力頂き、誠にありがとうございました●